

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22047	事業名	予防接種費用助成事業		評価分類	A1		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署		
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実			款	04:衛生費		
		施策の方向	05:感染症対策の推進			項	01:保健衛生費		
重点プロジェクト		01:「健都さぶり+」プロジェクト		目		02:予防費			
事業期間	H 24 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等	亀山市インフルエンザ予防接種費用助成金交付要綱等						

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	細菌やウイルスによる感染症に対して、ワクチン接種による免疫力獲得と接種者の増加による社会的免疫の向上による感染予防策を図る必要がある。	市民(予防接種対象者)	予防接種の接種勧奨を行い、予防接種の普及を推進することで、感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るとともに、保護者等の経済的負担の軽減を図る。また、定期接種以外の予防接種に対する助成を行うことにより、更なる予防接種の促進を図る。	インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ等のワクチンについて、予防接種費用の一部を助成する。

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発	
活動実績 (計画通り実施できたか)		予防接種の費用の一部助成について年度計画通り助成を行った。広報、ホームページ等を使用し市民への全体的な周知啓発を行うとともに、直接市民と接する機会(赤ちゃん訪問や幼児健康診査、健康教室等)を利用し、予防接種の費用助成についての周知啓発を行った。		予防接種の費用の一部助成について年度計画通り助成を行った。広報、ホームページ等を活用し、市民への全体的な周知啓発を行うとともに、直接市民と接する機会(赤ちゃん訪問や幼児健康診査、健康教室等)を利用し、予防接種の費用助成についての周知啓発を行った。令和5年度から、帯状疱疹ワクチン接種に対する助成を開始した。		予防接種の費用の一部助成について年度計画通り助成を行うとともに、令和7年度から開始をする帯状疱疹ワクチンの定期接種に向け、助成対象者の見直しを行った。また広報、ホームページを活用するとともに、直接市民と接する機会(赤ちゃん訪問や幼児健康診査、健康教室等)に、予防接種の費用助成について市民へ周知啓発を行った。			
③ 事業の実施状況 (P・D)	計画額	事業費	7,300千円	5,139千円	22,100千円	21,258千円	23,300千円	12,991千円	15,700千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円	
		地方債		0千円		0千円		0千円	
		その他		0千円		0千円		0千円	
		一般財源	7,300千円	5,139千円	22,100千円	21,258千円	23,300千円	12,991千円	15,700千円
決算額	事業費		4,975千円		18,891千円		11,974千円		
	国・県支出金		0千円		0千円		0千円		
	地方債		0千円		0千円		0千円		
	その他		0千円		0千円		0千円		
	一般財源		4,975千円		18,891千円		11,974千円		
①期間内計画額(R4-7)		68,400千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額 68,400千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	12,991千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	周知啓発の実施回数	成果	回	計画値	4	6	7	8
				実績値	6	6	7	
麻しん患者発生数	市内での麻しん患者発生人数	成果	人	計画値	0	0	0	0
				実績値	0	0	0	
				計画値				
				実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	任意予防接種費用の一部助成を行うことで、接種者や保護者の経済的な負担を軽減し、より多くの人が接種を受けやすくなり、結果として地域全体の公衆衛生の向上に寄与することができた。健康づくりのてびきや広報等で積極的に情報発信を行ったことに加えて、市民と直接接する機会を活用し周知啓発を行ったことにより、市民が感染症や予防接種の重要性を理解することで、市民の健康保持・増進につなげることができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民(予防接種対象者)	予防接種の接種勧奨を行い、予防接種の普及を推進することで、感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るとともに、保護者等の経済的負担の軽減を図る。 また、定期接種以外の予防接種に対する助成を行うことにより、更なる予防接種の促進を図る。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
⑥ 課題 (C)	接種を希望する人が適切な時期に予防接種を受け、助成を活用できるよう、積極的な情報発信を行うことが重要である。また、接種率の向上は医療費の低減につながると考えられるため、より多くの人に適切な情報が届くように、多様な媒体を活用した情報発信が必要である。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
継続して市民への周知啓発を行うほか、带状疱疹ワクチン、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン等の接種費用の一部助成を継続実施していく。	限られた財源の中で予防接種費用助成制度を安定的に継続していくために、医師会の意見も参考にしながら、助成を行う予防接種の種類や対象者等の見直しを行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴	成果判定	A	A	A
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	健康政策課 健康づくりグループ GL 小坂聡子 子ども総合支援課 母子保健グループ GL 小林 準子
最終評価者	健康政策課 課長 櫻井 ころこ 子ども総合支援課 課長 豊田 昌子